

後期計画の方向性

身の回りの生活環境も、昔から大切にされてきた自然環境も、行政・事業者・町民がそれぞれの役割の自覚と行動によって、みんなで守り未来につなげていくことができる町



鮎躍り、ホタル舞う川が流れる町、東栄町。

受け継がれてきた自然の上に、私たちの暮らしは続いてきました。東栄に暮らす未来の子どもたちも、鮎を釣り、ホタルを追いかけることができますように。豊かな自然の中で、心穏やかに暮らすことができますように。

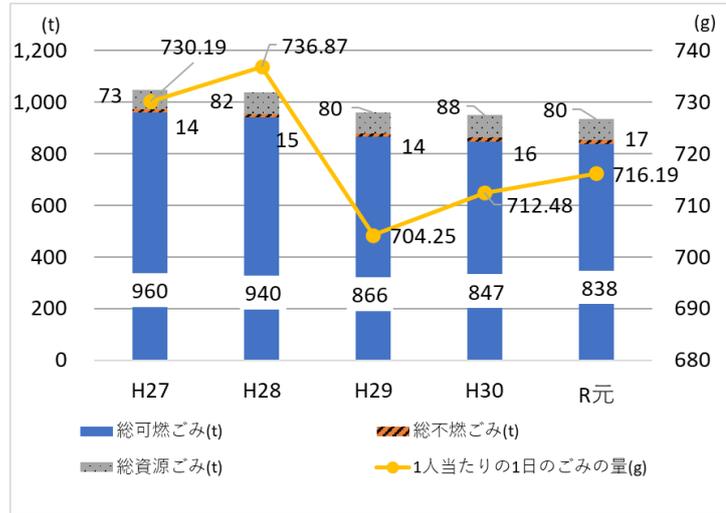
大切なこと、大切なもの。みんなの力で未来に向けて守っていきたいですね。

現状と課題

【現状】

- ・東栄町の豊かな自然環境のもと、みんなが安全で安心して暮らせる環境を将来にわたって守り創り上げることを目的に、東栄町環境保全条例が制定されました。
- ・町内の廃棄物の総排出量は平成27年をピークに減少傾向ですが、人口減少率に比べごみの総排出量の減少率が低く、1人当たりの1日のごみの排出量は微増傾向にあります。

■図表 ごみの排出量の推移



【資料：住民福祉課】

- ・毎年「東栄町ごみゼロ運動」を実施し、町民との協働で地域の環境美化活動を行っています。また、とうえいチャンネルや広報誌による野焼き防止などの啓発を行い、町民の環境意識の向上に努めています。
- ・ごみの不法投棄は、月に1回の愛知県環境保全連絡員による環境パトロールや防止ネットの設置などにより、減少傾向にあります。
- ・一般廃棄物は、北設広域事務組合により中田クリーンセンターで広域処理を行っていますが、焼却施設の老朽化により、さらに広域処理を目指して東三河ごみ焼却施設広域化計画を推進しています。
- ・地球温暖化の防止に向けては、町民への意識啓発を図るとともに、住宅用太陽光パネル等の設備導入に対する補助を平成24年度から行っています。

【課題】

- ・依然として道路上や山林等への空き缶などのポイ捨ては見られます。また、家畜や野焼きによる悪臭、PM2.5による大気汚染などの公害も問題となっています。
- ・ごみの適正な分類や資源ごみの分別・回収の徹底を行い、東栄町から排出されるごみを減量化していく必要があります。
- ・今後は蓄電池の普及など、省エネに対する理解と手法の啓発を行うなど、地球温暖化防止への取組の普及・啓発を進めていくことが求められます。

施策がめざす 将来の姿

- 環境保全条例の理念が、子どもからお年寄りまで、広く共有されています。
- 行政・事業者・町民が環境に配慮した暮らしや事業活動を行い、良好な地域環境が守られています。

目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
東栄町環境保全条例の実践	—	—	実践

個別施策

1 ごみの排出量の削減

一人ひとりがごみの適正な分類や、ストックヤードによる資源ごみの分別・回収を進め、ごみの減量化、限りある資源の再利用を進めます。また、地区での資源ごみの回収を推進します。

東三河ごみ焼却施設広域化計画を実現するため、愛知県や関係市町村と共にごみ処理を行うための協議を行うなど、今後のごみ収集・処理体制の検討を進めます。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
一人1日あたりのごみ排出量 (g)	789	716	710

具体的な事業の例	主体
ストックヤードの活用によるごみの排出量の削減の推進	町民・町
東栄町内の小中学校への東栄町環境保全条例解説集の配布などによる条例理念の浸透	町

ごみを減らす3つのR ～一人ひとりが暮らしの中で取り組む3R活動～

リデュース (Reduce) : 使う資源やごみの量を減らすこと

リユース (Reuse) : ものを繰り返し使うこと

リサイクル (Recycle) : 使い終わったものを資源として再び利用すること

【出典：環境省3Rまなびあいブックより抜粋】

2 環境美化活動の推進

毎年「東栄町ごみゼロ運動」を実施するとともに、各地域等でごみ拾いや草刈り等の環境美化活動を実施します。

また、地域住民と連携しながら、愛知県環境保全連絡員による不法投棄を監視するパトロールを実施し、不法投棄の早期発見・早期撤去に取り組むとともに、不法投棄防止ネットを設置するなど、不法投棄の未然防止に努めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
ごみゼロ運動参加者数（人）	1,000	1,428	1,350

具体的な事業の例	主体
地域におけるごみ拾いや草刈りなどの生活環境改善に向けた活動の推進	地域住民・町
不法投棄がされやすい場所への監視及びパトロールの実施	連絡員・県・町

3 公害の防止

良好な地域環境を保全するとともに、環境に調和した事業活動を促進し、法令や条例等に則り、事業者自らの責任と負担において公害防止に取り組むよう指導します。

また、地域住民から悪臭や騒音等の異常の報告があった際には、愛知県環境保全連絡員との連携により、状況確認や調査を実施し、公害防止や環境保全に努めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
環境調査の実施	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
水質、騒音、悪臭など必要に応じた環境調査の実施	町
環境を守る事業経営の実施	事業者
異臭や騒音などの異変があった場合の町への報告	町民

4 新エネルギーの普及促進

一般家庭において省エネなどの環境にやさしいエコライフを促進するため、省エネ等に対する手法等の理解や普及啓発に向けた情報提供に努めるとともに、学校や生涯学習等の活動として、地球温暖化の防止に向けた環境教育や環境学習などを推進します。

公共施設や一般家庭における太陽光発電設備等の導入を推進し、CO₂（二酸化炭素）の削減を図るとともに、設備等の廃棄にあたっては導入者が責任を持ち適正に処分します。

事業として太陽光発電システム等の新エネルギーを扱う場合においては、条例、法令やガイドラインに則り、適正に進めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
住宅用太陽光発電設備の年間設置数（件）	3	2	3

具体的な事業の例	主体
公共施設や一般家庭における太陽光発電・蓄電池・HEMS ¹⁰ ・燃料電池等の普及に向けた設備導入への支援	町

5 森林や河川の保全

森林が荒廃しないよう「森林経営管理法」に基づく町内私有林の適正な管理を進め、木材資源の効率的な循環・利用を図り、森林を健全な状態に再生する活動を支援します。水生生物の成育や水害対策等を図るため、河川周辺の雑木の撤去などの維持管理を振草川漁業協同組合と連携し、ボランティアとともに進めます。

河川の水質を保全するため、汚水処理施設の維持管理を図るとともに、町民や事業者等と協働で水質汚濁の防止や水質保全活動などを進めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
水質調査の実施	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
適切な森林管理のための計画的な間伐の実施	町・森林組合・林業経営体
協働による河川整備活動の実施	漁協・町・ボランティア

¹⁰ HEMS：Home Energy Management System（ホームエネルギーマネジメントシステム）の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。家電や電気設備とつなぎ、電気やガスなどの使用量をモニター画面による「見える化」や、家電機器を「自動制御」するもの。町では、2か所の公共施設において太陽光発電設備を設置しており、年間約9tのCO₂を削減している。（令和2年度現在）

関係する計画等

- 東三河ごみ処理焼却施設広域化計画



現状と課題

【現状】

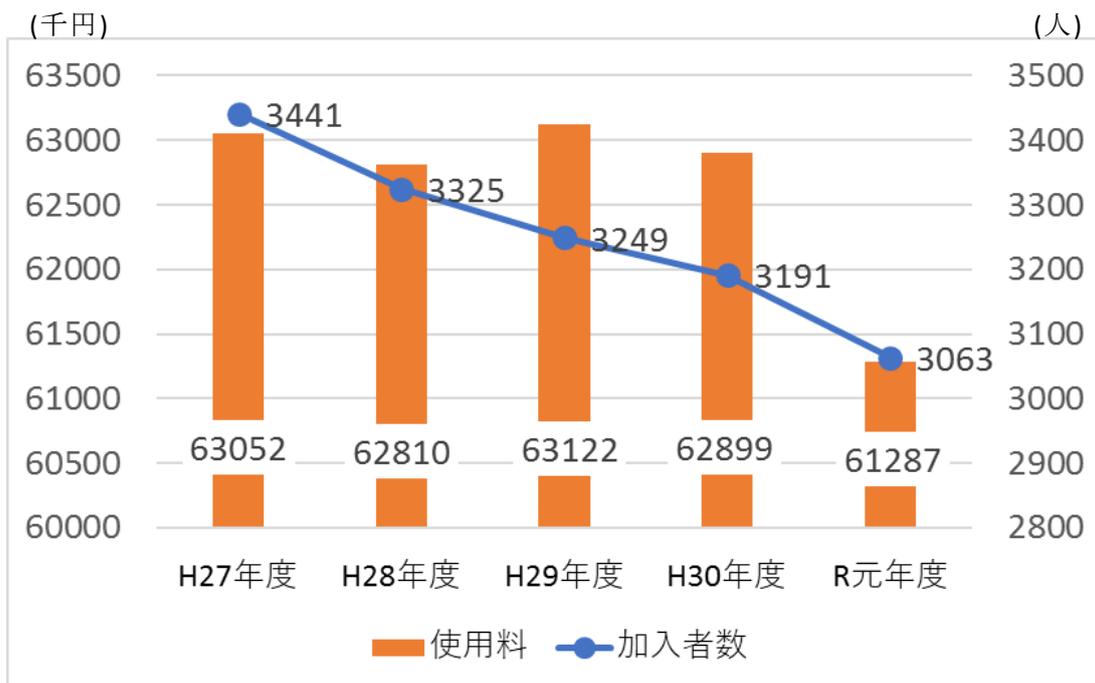
- ・本町の水道施設は、集落の点在や標高差が大きいことなどから集落ごとに独立した施設となっており、12の浄水場等施設があります。
- ・平成28年度末には8つの簡易水道施設と1つの飲料水供給施設、3つの簡易給水施設を統合し「東栄町簡易水道事業」として、一括管理しています。
- ・令和2年4月1日現在の普及率は98.9%となっています。

【課題】

- ・老朽化した施設及び漏水事故の多い水道管の更新が進んでいません。
- ・南海トラフ地震等の大規模災害の発生が懸念されますが、災害時においても住民生活のライフラインとして安定した水の供給に向けた水源の確保及び浄水場等施設の耐震化等が進んでいません。
- ・近年の気象変化、豪雨等による水質変化への対策が整っていません。
- ・人口の減少は加入者数及び収入の減少となり経営に大きく影響しますが、公営企業化と共に人口減少を踏まえた経営方法が定まっていません。

■図表 簡易水道加入者数及び使用料の推移（令和2年4月1日現在）

【資料：事業課】



施策がめざす 将来の姿

- 安定した質と量を供給できる水道施設及び水資源が保全・確保されています。

目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
簡易水道事業有収率 (%)	56.0	55.8	60.0

※有収率：浄水場等から供給した水量（配水量）に対する水道料金の対象となった水量（有収水量）の割合を示す数値。

個別施策

1 安定した水の供給と施設整備

布設後20年以上経過し老朽化した配水管を更新し、漏水事故等の発生を抑制します。巨大地震等の発生が危惧されるため、施設の耐震化を図り、災害時の事故を防ぎライフラインである水の供給を確保します。そのため、令和2年度に策定する簡易水道管路更新計画に沿った施設整備に取り組みます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成26年度）	（令和元年度）	（令和7年度）
簡易水道管路更新計画の推進	—	—	推進

※更新計画は令和2年度に策定完了

具体的な事業の例	主体
簡易水道管路更新計画に沿った工事の実施	町
原水濁度対策の実施	

2 水道事業経営の健全化

水道事業の安定経営を図るため、令和5年の地方公営企業法適化を目指し、複式簿記による資産の見える化を行い水道料金の改定を踏まえた検討を進めるとともに、収納率の一層の向上、漏水箇所の早期把握や修繕、節水意識の高揚を図ります。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成26年度）	（令和元年度）	（令和7年度）
地方公営企業法の適用	—	準備	完了

具体的な事業の例	主体
地方公営企業法適化業務の実施	町
経営戦略の策定	



現状と課題

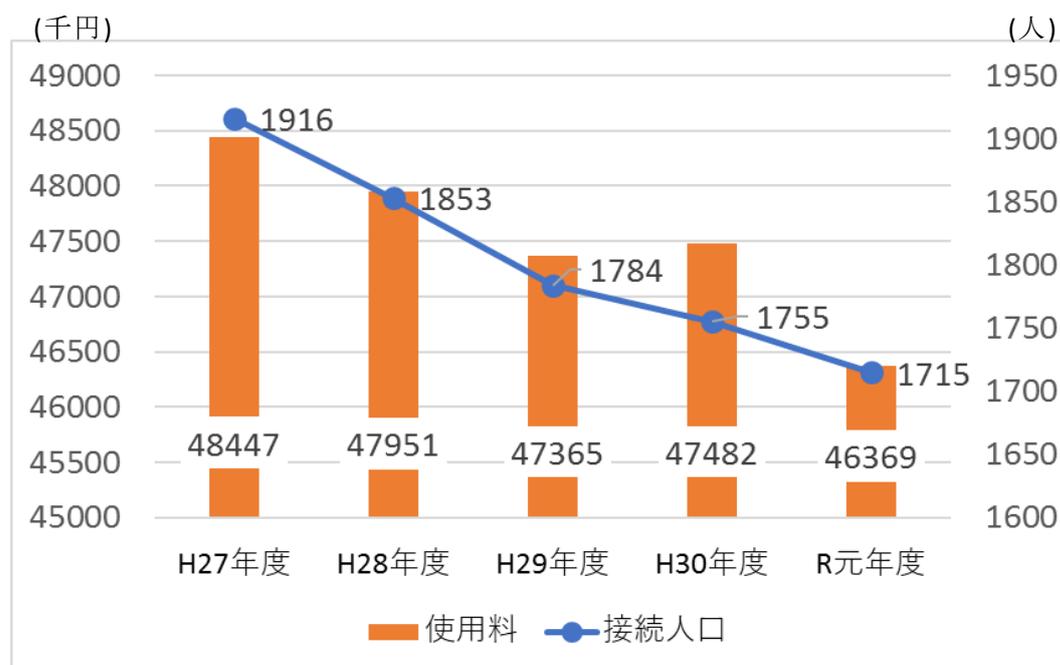
【現状】

- ・ 汚水処理は、生活排水の適正処理による生活環境の保全及び河川の水質汚濁の防止の役割を果たしています。
- ・ 本町における汚水処理施設は、町の汚水処理構想に基づき本郷・下川・中設楽地区において特定環境保全公共下水道を、川角・月地区では農業集落排水を整備し、汚水処理を行なっています。また、その他の地域については合併処理浄化槽の設置を推進しています。
- ・ 施設の維持管理、更新等を計画的に進めるため、ストックマネジメント計画により、適正な維持管理を行っていく必要があります。

【課題】

- ・ 特定環境保全公共下水道は、供用開始後 15 年以上経過しており、今後は老朽化による施設の維持管理及び機器の更新に係る経費の増大が懸念されます。
- ・ 人口の減少は処理人口及び収入の減少となり経営に大きく影響しますが、公営企業化と共に人口減少を踏まえた経営方法が定まっていません。

■ 図表 下水道接続人口及び使用料の推移¹¹（令和2年4月1日現在） 【資料：事業課】



¹¹ 下水道の他に農業集落排水、合併処理浄化槽等がありますが、ここでは一例として下水道事業について掲載しています。

施策がめざす 将来の姿

- 汚水処理施設が整備され、清潔で快適な生活環境ときれいな河川が維持されています。

目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
下水道接続率 (%)	91.0	92.3	98.0

個別施策

1 下水道、農業集落排水の長寿命化

ストックマネジメント計画を適宜更新し、実施計画に基づいて処理施設などにおける電気設備等の機器類の更新を行うなど、計画的に下水道施設の点検、修繕等を行い、ライフサイクルコストの最小限化を図ります。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
ストックマネジメント計画の更新と推進	—	準備	推進

具体的な事業の例	主体
ストックマネジメント計画の更新と推進	町
下水道・農業集落排水施設の老朽化対策	

2 生活排水の適正処理

下水道や農業集落排水の区域外において、合併処理浄化槽の普及を促進するとともに、適正な浄化槽の維持管理を促します。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
合併処理浄化槽設置補助件数	5	3	3

具体的な事業の例	主体
合併処理浄化槽設置への補助	町
浄化槽設置者への適正管理の周知啓発・浄化槽の適正管理	町・設置者

3 下水道事業経営の健全化

下水道事業の健全経営に向けて、公営企業化を踏まえ下水道料金の適正化を図るとともに、料金徴収率の向上と経費の削減に努めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
地方公営企業法の適用	—	準備	完了

具体的な事業の例	主体
地方公営企業法適化業務の実施	町
経営戦略の策定	

4 処理施設の有効利用

下水処理場やポンプ場などの施設を有効に活用し、子どもの遊び場や地域住民の憩いの場等として利用します。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
公園・広場維持管理数（箇所）	2	2	2

具体的な事業の例	主体
ポンプ島公園の維持及び管理	下田老人クラブ・町
浄水公園の清掃活動	町

関係する計画等

- ストックマネジメント計画
- 全県域污水適正処理構想